

《担当者名》百々 尚美 (ndodo@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

脳と心の謎について考えるために、中枢神経系、自律神経系、内分泌系、免疫系、骨格筋系、視覚-運動系についての生理心理学的知識を身につける科目である。

【学修目標】

生理心理学に関する基礎知識を習得し、精神機能をにう生体反応のメカニズムについて理解する。

脳と心との関係について、基本的な知識を説明できる。

精神機能をにう生体反応のメカニズムについて説明できる。

さまざまな科学技術の進歩が心の理解にどのようにかわるかを説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	生理心理学・精神生理学の定義、基本的概念、位置づけ	生理心理学・精神生理学の定義、基本的概念、心理学における生理心理学・精神生理学の位置づけについて学習する。	百々 尚美
2	脳神経系の解剖	脳神経の構造について知る。	百々 尚美
3	脳神経系の構造及び機能	脳神経系の構造及び情報伝達について知る。	百々 尚美
4	自律神経系の基礎	自律神経系の基本構造と働きについて知る。	百々 尚美
5	自律神経系の反応	自律神経系の測定方法と特徴的な反応について知る。	百々 尚美
6・7	注意	注意研究の変遷について知る。	百々 尚美
8	二つの脳	分離脳研究について知る。	百々 尚美
9	生物リズム	生物リズムのメカニズムについて知る。	百々 尚美
10	睡眠の基礎	睡眠のメカニズムについて知る。	百々 尚美
11	睡眠の脳科学	睡眠の脳科学研究について知る。	百々 尚美
12	ストレスの生理と心身の疾病	セリエの学説、汎適応症候群について知る。	百々 尚美
13	精神神経内分泌免疫系	精神神経内分泌免疫系について知る。	百々 尚美
14	バイオフィードバック	バイオフィードバック研究について知る。	百々 尚美
15	まとめ	授業のまとめ・総説。	百々 尚美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業内で行うGooglr Formを用いた小テストの結果（20%）、および定期試験の結果（80%）を総合して評価する

【教科書】

適宜プリントを配布する。

【参考書】

心理生理学 心と脳の心理科学ハンドブック 北大路書房 2012年

生理心理学と精神生理学 第I巻 基礎 北大路書房 2017年

生理心理学と精神生理学 第II巻 応用 北大路書房 2017年

生理心理学と精神生理学 第 巻 展開 北大路書房 2017年

【備考】

1. 学習教材（授業資料）の配信、学習課題の提示

- ・ 授業資料の配信はGoogle Classroomを利用して学習課題を提示する

2. 授業に関する学生相互の意見交換やグループ学習の実践

- ・ 学生相互の意見交換を目的にGoogle Classroomを活用する

3. 任意の時間での授業の受講

- ・ Google Classroomを利用したオンデマンド型授業、オンライン授業を行う場合もある

4. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用

- ・ Google Formを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する

5. 欠席回数について

- ・ 各自で責任を持って管理すること(欠席回数についての問い合わせには原則応じない)。

6. 課題について

- ・ 課題の提出締切を厳守すること(遅延の場合は課題の評価は減じられる)

・ 課題内容において、剽窃などの不正がなされることは極めて低劣な行為であり、いかなる事情があろうとも忌避されるべきものである。そのような不正が発覚した場合、あるいは強く疑われる場合には、以降、その学生からの提出物は評価の対象から除外する。

【学修の準備】

1. 予習について・シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること(20分)

2. 復習について・講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと(20分)

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

DP3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。